

松高11期4人組のドイツ旅・写真日記（4）

熱気球体験

ドレスデンの後は、ワイマールを経てフランクフルトに2泊。更にバーデンバーデンで2泊。

7月27日早朝近くの牧場にて熱気球体験が公子さんの要望で実現。

黒い森（シュバルツバルト）を上から見ながら、風に乗ってフランスに着陸、などと考えていたようです。風が逆で結果はドイツ側への飛行となりました。

写真はイザ出発の記念写真、撮影は公子さん。立っているのは勇人その隣が村尾君。田中君は？居ないね、どうしたんだろう。

熱気球体験は、広げて膨らますところから手伝うことから始まる（写真下）。

ゴーゴーとバーナーが吼えて炎を吹き込むと段々気球が膨らみ、やがてポッカリと・・・



飛行は約1時間半、高度は15～500メートルを上ったり、下がったり。時には木の枝に触れそうになったり、どっこいしょと高圧線を越えたり・・・。

丁度出勤・登校時（夏休みはないのかな）で、自転車で走る女子高生や駅で電車を待つOLに「 Morgen」（お早う）と叫ぶと手を振ってくれ

る。恐怖感はない、そんな体験でした。料金は約3万円強。

写真下は膨らんだ気球。左の男女は村尾君と公子さん。



予約したレンタカーがない！

バーデンからはレンタカーの予定でした。ところが日本で予約していた大きめのワゴンが配車なし。大きめでないとバッグ4人分が乗らないのです。泡を食って色々折衝するも駄目。とりあえず大型タクシーでバーデンからシュツットガルトへ。約2時間、3万円。(帰国後抗議した結果、タクシー代の1.5倍の賠償金を受け取りました)

ベンツ博物館と天皇の御料車

7月28日シュツットガルトではベンツ博物館を見学。時速600キロのスポーツカーなど。愛好家には楽しみでしょう。

入場時に係の女性が「あなた方は60歳以上ではないか」と言ってくれ料金は半額となりました。一目で60代と見破られたのは残念無念。

写真は博物館に展示されている日本の天皇の御料車。菊の紋章も付き、塗装はまるで漆塗りみたいでした。何でこんな車がここにあるのかは不明。写真左は石原さんという現地会計事務所の人。

